

現代文 B

検印 校長【 前三盛 英明 】 教頭【 嘉数 修 】

国語	単位数	2単位	学科・学年 コース・組	普通科・2年 普通コース1～4組
使用教科書	「新編現代文 B」 東京書籍			
副教材	「新国語便覧」(第一学習社)			

1. 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 学習の計画

学期	月	教材名	学習の目標	評価の観点				配当時間
				関心 意欲 態度	話す・ 聞く 能力	読む・ 書く 能力	知識 理解	
一 学 期	四	・オリエンテーション	・授業の目的、方法、成績評価等について確認をする。	○				1
	五	・基礎学習	・基礎基本の漢字や語彙について学び、確認をする。	○		○	○	2
		・さくらさくらさくら	・随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を的確に読み取る。	○		○	○	3
		・意見文	・現代社会の課題から適切なテーマを探すということを理解する。 ・意見文をまとめるのに必要な情報・知識の収集方法を理解する。 ・集めた情報・知識から、自分の意見を論理的に文章にまとめることを理解する。	○	○	○	○	4
		・一つのメルヘン	・近代詩、現代詩に親しむ。詩の鑑賞の仕方、技法について学ぶ。想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。	○	○	○	○	1
		・I was born		○	○	○	○	2
		<b>1 学期中間考査</b>						1
	六	・みどりのゆび	・情景や心理描写に注意しながら小説を読んで、描かれた世界を的確に捉える。	○		○	○	5

		・ぶうぶう紙を…	・作品に託されたイメージを通じて、作者の心情を考える。	○	○	○	○	1
		<b>1 学期期末考査</b>						1
		・平和学習	・平和の概念、平和学習の意義を理解する。	○	○	○	○	2
	七	・生命とは何か	・評論を読んで、そこに提示された問題を正確に把握し、理解する。文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。	○		○	○	5
二 学 期	八 九	・ころ	・小説に描かれた人物の思考や行動をとおして、人間の在り方、生き方についての考えを深める。	○		○	○	8
	十	<b>2 学期中間考査</b>						1
		・分からないからおもしろい	・さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深める。	○		○	○	3
	十一	・楽に働くこと、楽しく働くこと	・自ら進んでさまざまな書物を読み、視野を広げ、考えを深める。	○	○	○	○	3
		・安心について	・論理的文章の読解を学ぶ。筆者の関心や問題意識を受け止め、自己のあり方について見つめなおす。	○		○	○	3
	十二	<b>2 学期期末考査</b>						1
		・「ふしぎ」ということ	・思考のあり方に関する文章を手がかりに、さまざまな問題について自分の力で考える態度を養う。	○		○	○	3
	・こそそめスープ	・個性的な表現を味わい、随想の魅力を知る。	○		○	○	3	
三 学 期	一	・ナイン	・小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心の触れ合いについて考える。	○		○	○	4
	二	・旅する本	・小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身につける。	○	○	○	○	3
		<b>3 学期期末考査</b>						1

期		・山椒魚	・寓話的な話のおもしろさを味わい、その主題と構想とを理解する。小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身につける。	○		○	○	5
	三	・信濃路【短歌】 ・短歌創作	・それぞれの短歌に詠まれた情景をよみとり、作者の思いや感動を理解する。修辞技巧を理解する。	○	○	○	○	3 1

### 3. 学習方法

- ①最初の授業で授業の進め方、学習方法、評価方法についてのガイダンスを実施する。
- ②学習計画にそって授業を行い、課題提出、小テスト等を通して学習内容の徹底を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ、辞書および便覧活用の定着を図る。
- ④校内弁論大会に向けて1000字～1200字程度の意見文を書き、全体の前で発表する。
- ⑤夏休みには課題として読書感想文を書き、提出する。

### 4. 評価の観点

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	自分の考えをまとめたり、目的や場面に応じ筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりすることができる。	自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書いている。	目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。